

川崎医科大学附属病院 がんセンターNEWS

Vol.6 2011 新年号



- 臨床腫瘍科のご紹介
- 第43回日本甲状腺外科学会学術集会を終えて
- 第7回市民公開講座がんサロンレポート
- 緩和ケアフォーラム

インフォメーション

- がんセンター活動予定
- オープンカンファレンスのご案内



臨床腫瘍科のご紹介

部長 山口 佳之

1981年以来、我が国の死因の第一位はがんであり、年間約35万人、3分におふたりのお命ががんによって奪われています。この数字はこの先20年の間に2倍に増加すると予想されています。臨床腫瘍科は、このように重要ながんの複雑な病態に対し、総合的に、ときに診療科の枠を超えて横断的に、診断・治療・ケアを提供する診療科です。具体的には、安全で質の高いがん化学療法の実践、分子標的治療などの新規治療の提供、活性化自己リンパ球移入療法やがんワクチンなどの新規治療開発、セカンドオピニオンなどの患者支援、そして、早期からの緩和在宅ケアの提供を柱として、地域密着型の活動を実施しております。絶えず専門知識と技術を研鑽し、がん患者さんおひとりおひとりの生涯をトータルとして心優しく診るがん診療の実践を目指しております。新規治療開発に必要な厳格さ、やりとげる強い意識、このような「鉄」の意思と同時に、患者さん・ご家族のニーズに「寄り添う」がん治療、標準治療終了後でも「ない」と言わないがん治療、これらに代表される「黨」となる心、この「鉄と黨」の精神をモットーに、日々研鑽させていただいております。



早期からの緩和在宅ケアの提供を柱として、地域密着型の活動を実施しております。絶えず専門知識と技術を研鑽し、がん患者さんおひとりおひとりの生涯をトータルとして心優しく診るがん診療の実践を目指しております。新規治療開発に必要な厳格さ、やりとげる強い意識、このような「鉄」の意思と同時に、患者さん・ご家族のニーズに「寄り添う」がん治療、標準治療終了後でも「ない」と言わないがん治療、これらに代表される「黨」となる心、この「鉄と黨」の精神をモットーに、日々研鑽させていただいております。

第43回

日本甲状腺外科学会学術集会を終えて

会長 園尾 博司、実行委員長 田中 克浩
川崎医科大学乳腺甲状腺外科

2010年10月14日(木)～15日(土)の2日間、第43回日本甲状腺外科学会学術集会を倉敷市民会館で開催しました。テーマは、「甲状腺外科の現状と展望」で、195題と過去最多の演題発表と390名の先生方のご参加を頂き、お陰様で盛会裡に終了することができました。我が国の内分泌・甲状腺外科関係の全国学会は、この学会と日本内分泌外科学会の2つです。昨年5月、岡山市で第21回日本内分泌外科学会学術総会を開催しましたので、これで内分泌・甲状腺外科関係の学会をすべて開催したことになります。

今回の学会の特別講演「音の福祉工学」は、甲状腺手術で声を失った患者への福音となる興味深い講演でした。シンポジウムの3主題はじめ一般演題にも随所に最新の研究成果の発表が行われ、有意義な討論が行われました。当番会長アンケート「甲状腺乳頭癌の術後TSH抑制療法の現状と実際」では興味深い結果が得られたので、後日、論文化する予定です。この学術集会時に発刊された「甲状腺腫瘍診療ガイドライン」は、我が国で初めての甲状腺腫瘍診療のガイドラインです。この学会を契機として、今後、我が国の甲状腺腫瘍の診療が適正に行われることを期待したいと思います。学会の合同に倉敷美観地区を散策したり、大原美術館を訪れる先生方も多く、アイビススクエアでの全員懇親会は、「うらじゃ踊り」や瀬戸内の魚や地酒で大いに盛り上がり、倉敷市での開催が好評でした。

第43回 日本甲状腺外科学会学術集会



第7回市民公開講座がんサロンレポート

呼吸器外科部長 中田 昌男

2010年10月2日(土)に第7回市民公開講座を開催しました。今回は新しい試みとして前半は講演を、後半は参加していただいた方々が懇親できる「がんサロン」とし、会場も従来の講堂ではなく、開放感豊かな医大校舎棟8階ラウンジを使用しました。

講演では、山口佳之臨床腫瘍科部長が「がんと上手につきあおう」を、乳がん体験者の方が「がんとともに生きて」を、中倉智恵美MSWが「がん相談支援センターの活動紹介」を、横山和代患者診療支援センター主任が「心を癒すアロマセラピー」をそれぞれ講演され、特に自らの長い闘病生活におけるさまざまな想いを語られた乳がん体験者の方のお話には参加者一同熱心に耳を傾け、ご家族の方々から花束を送られる姿に盛大な拍手が起こりました。

がんサロンでは、医大茶道部学生によるお抹茶コーナーや看護師によるアロマセラピーコーナー、ハーブティーコーナーを設け、患者、家族、医療従事者、学生がくつろいだ雰囲気の中で懇親を深めることが

できました。当日は心配していた雨も上がり、屋外の「ふるさとの森」を散策される方の姿も見えました。

今回のがんサロンを通して、患者と医療者ではなく、がんと戦う仲間として身近に患者さんの話を聞く機会が得られたことは私達にとっても良い勉強になりました。患者さんからも「楽しかった」「力がわいた」という声をたくさん頂戴しました。今後もささやかな癒しの時間が持てるよう、このような企画を続けていきたいと考えています。



緩和ケアフォーラム in 岡山

岡山南西地区およびその周辺地区における緩和ケアの強化・充実、在宅ケアの活性化に向けた情報交換、切れ目のない連携パスの完成と実践を目的とした研究会です。年4回の勉強会・講演会を開催、メーリングリストでの情報交換を行っております。研究会に参加ご希望の際は右記までご連絡をお願いいたします。

緩和ケアフォーラムin岡山

代表世話人 川崎医科大学附属病院
消化器外科部長 平井 敏弘

事務局 川崎医科大学 臨床腫瘍学教室
kasco@med.kawasaki-m.ac.jp

メーリングリストご加入の際は上記にメールをお願いします。

がんセンター活動予定

第8回市民公開講座 みんなでつくろう、地域で支えよう、がん患者さんの支援の輪 ～がん「患者必携」岡山の取り組みに向けて～

日時：平成23年1月15日(土) 13:30～16:00 場所：川崎医科大学 現代医学教育博物館2階大講堂

I. 基調講演 地域社会でのがん患者支援

「みんなでつくる、地域で支える、がん患者さんの支援の輪を広げるために」

国立がん研究センターがん対策情報センター 渡邊 清貴 先生
(厚生労働省研究班 研究代表者)

II. パネルディスカッション

- | | |
|--|--|
| 1. 岡山県のがん対策
岡山県医療推進課 副参事 前原 幹子 先生 | 3. がんサロンと地域連携バス
川崎医科大学附属病院 呼吸器外科 部長 中田 昌男 先生 |
| 2. 地域一体型緩和ケアネットワークの確立に向けて
緩和ケアフォーラム(岡山)
倉敷第一病院 診療部長 竹内 隆三 先生 | 4. がん患者からのメッセージ
～がんになっても安心して暮らせる街をめざして～
NPO法人愛媛がんサポートおれいんの会 理事長 松本 陽子 先生 |

III. 総合討論

第8回 Cancer Seminar (医療関係者向け)

「(仮)進行再発がんの治療(緩和も含めて)」

日時：平成23年3月19日(土) 13:30～16:00
場所：川崎医科大学 現代医学教育博物館2階大講堂

第5回 Oncology Seminar (患者・コメディカル向け)

「がん患者の療養生活を支援する」

日時：平成23年3月26日(土) 13:30～16:00
場所：川崎医科大学 7階 M702教室

オープンカンファレンスのご案内

下記のカンファレンスを行っています。
参加ご希望の際は地域医療連携室までご連絡をお願いします。

呼吸器カンファレンス

呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科(診断・核医学)合同で「呼吸器X線カンファレンス」を行っています。院外の先生方もどうぞご参加ください。気になる症例がありましたらレントゲンをお持ちいただいても結構です。

日時 第2・4月曜日 18:00～19:00
場所 9階中病棟 第2カンファレンス室

緩和ケアカンファレンス

毎週木曜日13:15から14階西カンファレンス室で緩和ケアチームのカンファレンスを行っています。

Case Conference

各診療科から症例を提示し、その診断と治療およびケアについて複数の診療科で、また医師・看護師のみならず広くコメディカルも参加して横断的かつ総合的に討論し勉強する症例検討会です。

日時 第2木曜日 18:00～19:00
場所 川崎医科大学 校舎棟M703号教室

大腸癌化学療法カンファレンス

外科・内科・臨床腫瘍科・放射線科の医師・看護師・薬剤師など多職種からなる医源子チームで、外来大腸癌性腫瘍に対する治療方針(化学・放射線療法プロトコール・手術介入など)の決定についてのカンファレンスを行います。院外の先生方や医療スタッフの皆さまどうぞご参加ください。

日時 第1・3金曜日 17:30～19:00
場所 本館10階 過院治療センター

Nutrition Support Team(NST)カンファレンス

毎週火曜日12:45から14階南カンファレンス室でNSTミーティングと勉強会を約1時間行っています。どなたでも参加可能です。



川崎医科大学附属病院

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577
TEL 086-462-1111(代表)
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>

紹介患者さま受診予約窓口

■地域医療連携室
TEL (086) 462-1111 (内線22611)
FAX (086) 464-1166
E-mail renkel@med.kawasaki-m.ac.jp